



村はひとつ 学校はひとつ 願いはひとつ

地域コミュニティを核とした
天栄だからできる少人数教育

2022.12.20

教育委員会だより No.137

愛村心（＝尊心）を育む 天栄村！

発行：天栄村教育委員会



天栄村地域拡大学校保健委員会

11月29日（火）、「文化の森てんえい」において、令和4年度天栄村地域拡大学校保健委員会が開催されました。本会は、各学校・園・保育所の保護者代表、校長・園長・保育所長ならびに保健担当者、村の栄養技師、へるすぴあ担当者が一堂に会し、天栄村の子どもたちの健康課題を共有し、解決に向けた手立て等について協議する会です。

今回は、協議の他、「菊池記念こども保健医学研究所」の所長もお務めになる、「菊池医院」院長菊池信太郎様にお越しいただき、「子どもの肥満～福島県の子どもの未来のために～」と題してご講演をいただきました。肥満になってしまう原因、肥満が引き起こすリスク等についての内容の中に、「**子どもの肥満は成人へ移行する**」というお話がありました。思春期肥満の70～80%がそのまま成人肥満になるというデータに大きな衝撃を受けました。福島県でも、本村においても児童生徒の肥満対策は喫緊の課題であります。ご家庭におかれましては、お子さんの将来にわたる健康維持のため、**望ましい生活習慣の確立に**ご協力いただきたいと思います。



子どもたちは野菜不足！！

「朝食に野菜を食べましたか？」

「はい」と答えた子どもの割合

幼稚園	小学校	中学校
50. 7%	57. 3%	35. 8%

第2回「朝食について見直そう週間運動」アンケートより

Qなぜ朝食で野菜を食べる必要があるのですか？

野菜にはビタミン・ミネラル・食物繊維が多く含まれ、体の調子を整える役割があります。野菜をしつかり食べることで、様々な**病気の予防**につながります。一日の野菜摂取目標量は、3～5歳で240g、6～9歳で300g、10歳以上で350g（大人も同じ）です。

朝食から野菜をとらないと、一日に必要な野菜の量をとることが難しいです。（給食で使用している野菜の量は、1日分の1/3量を目安に使用していますので。）

Q朝食でおすすめの野菜のとり方はありますか？

汁物がおすすめ！！

菜は生のままだと量がありますが、**加熱するとかさが減って食べやすくなります。**また、寒い季節は温かい汁物で体を温めると、体の抵抗力を高めることができます。



おこさんにも、野菜の役割を伝えていただき、**楽しい雰囲気の中で、「野菜を食べてみよう！！**と声かけをお願いします。

生涯学習事業

村民一人一人が自己の能力を高め、生きがいを持って豊かで充実した人生を送れるよう、誰もがいつでも自由に学習機会を選択できる環境を整え、「愛村心を育むふるさと教育」を目標に取り組んでいます。そうした村民の主体的な学習活動を支援し、習得した知識を地域へ還元できる人づくりを推進していきます。

○第34回ふくしま駅伝

11月20日、第34回ふくしま駅伝が白河市から福島市県庁前までの16区間で行われました。チーム全員が気持ちを一つにして挑むことができ、総合順位45位、村の部9位の結果となりました。また、個人成績としては10区の佐藤輝歩選手（学法石川高3年）が、村の部で区間賞を受賞しました。



○第2回地域を学ぶ親子体験教室

12月3日（土）、第2回地域を学ぶ親子体験教室が開催され、8家族23名が参加し白河市の「だるまランド」及び県文化財センター白河館「まほろん」を訪問しました。だるまランドでは、白河だるまの絵付けを親子で体験し、まほろんでは学芸員からの説明のもと発掘調査で出土した土器や各時代の生活道具などの展示をはじめ、野外の竪穴住居や古墳などの施設も見学し、親子で地域の歴史・文化を学びました。



○寿大学閉講式

12月14日（月）、生涯学習センターで寿大学の閉講式が行われました。式では、今年度の寿大学の各回の講座に無欠席で出席した17名の受講生に皆勤賞が贈られました。また、式終了後にはアトラクションが行われ、口笛奏者の高木満理子さんによる口笛の演奏が行われました。高木さんは中島村在住で、2013年、2014年に行われた国際口笛コンクール女性の部において2年連続で優勝し、文化庁派遣アーティストとして全国各地の小中高校等で演奏活動しており、この日も福島県ゆかりの作曲家古関裕而さんの楽曲のメドレーや童謡の他、野鳥の鳴き声など美しい口笛の音色で受講生の耳を楽しませておりました。

